

行政評価シート（事務事業評価）			評価年度	26年度
事業名	任意事業		担当課	保健課
細分化した事業名				

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
	政策	健康な暮らしを守る保健・医療の充実		
	施策	健康づくりの推進		
関連する個別計画等	介護保険事業計画	根拠条例等	介護保険法	

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	介護保険では補えない事業を行い、本人家族への在宅介護支援を行う。			
事業の手段	① 家族介護教室 ② 認知症高齢者見守り事業 ③ 家族介護者健康相談事業 ④ 成年後見制度利用支援事業 ⑤ 住宅改修費支給支援事業 ⑥ 介護相談員派遣事業			
事業の対象	65歳以上の高齢者及びその家族			

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	1434	1379	1366
財源内訳	国・県支出金	861	817	810
	その他(使用料・借入金ほか)	287	272	270
	一般財源	287	290	286
B	担当職員数(職員E) (人)	0.63	0.53	0.53
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	4295	3544	3440
D	総事業費(A+C) (千円)	5729	4923	4806
主な事業費用の説明		家族介護教室・介護相談員・成年後見制度講師謝金、家族介護者健康相談業務委託料、		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 家族介護教室開催回数	家族介護教室開催回数	1回	3回	0回 (大雪のため)
	2 認知症サポーター養成講座回数	認知症サポーター養成講座回数	16回	18回	12回
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	介護者同士のリフレッシュ、情報交換を目的とする。			
	2	認知症高齢者を介護する家族、関係者、地域住民に対し開催し、認知症についての理解を深めることを目的とする。			
	3				

